

「総合部会」の取り組み

神原中学校：○田 重子，宮里明日香，
又吉結惟

神原小学校：○喜名由美子，轟 洋平，
神崎貴久，大城園美

壺屋小学校：◎伊敷清香，花城 誠

1 取り組みの趣旨

(1) 昨年度の取り組み

小中一貫教育におけるテーマ「自ら考える力を育て社会性を身につけた児童生徒の育成」のもと、総合的な学習の時間における育てたい力の系統性を明確にし、3校合同の資料『各学年「総合的な学習の時間」における育てたい力』を作成した。

総合的な学習の時間の9年間を見通した『育てたい力』の系統表を作成した。

(2) 本年度の方針

総合的な学習の時間で行われている、各校の取り組み内容を整理し、系統を明らかにする。そのことにより、各校の教員が、9年間の見通しをもって、総合的な学習の時間の授業を行えると考えた。

総合的な学習の時間の9年間を見通した『取り組み内容』の系統表を作成する。

2 取り組み内容及び実践報告

(1) 各校の学習内容の確認

総合的な学習の時間に行われている、各校の学習内容を共通理解するために、各校の年間計画を持ち寄り、総合部会で検討会を行った。

各校とも、昨年度作成した『育てたい力』の系統に基づき、学習の内容が進められている。また、神原小学校・壺屋小学校では、小学校で連携して3年生から6年生まで同じ領域を扱う内容をもうけていることを確認した。

次に、学習内容の系統を明らかにするため、小学3年生から中学3年生までの学習内容を整理した。

すると、小学校と中学校では、総合的な学習の時間で扱う領域に大きな違いがあることがわかった。

小学校…3年生から6年生にかけて、「地域」「福祉」「環境」「平和」「キャリア教育」などの多領域を横断的・総合的に行う。

中学校…1年生から3年生まで領域は「キャリア教育」となっており、各学年で段階的・集中的に進路指導を行う。

(2) 考察

当初、総合部会では、小学校1・2年生の生活科も含め、小学校3年生から中学校3年生までの総合的な学習の時間の内容の系統がわかるシラバスを作成する予定であった。

しかし、小学校と中学校では領域の取り扱いが大きく違うため、学習内容の系統を示すには、視点を定めて行うことにした。

中学校の総合的な学習の時間は、「キャリア教育」に一本化され、進路指導を各学年段階的に行われているので、そこにつながる部分の系統を明らかにすることが望ましいと判断した。

3 本年度の方針の見直し

総合的な学習の時間で行われている、「キャリア教育（特に進路指導）」に関わる内容に絞って、小学校から中学校へのつながりを把握できる資料を作成する。

作成された資料を3校が共有し、中学校で行われている「総合的な学習の時間」を見通した指導ができる体制をつくる。

総合的な学習の時間の9年間を見通した『キャリア教育（特に進路指導に関わる）取り組み内容』の系統表を作成する。

4 資料作成の視点

- (1) 総合的な学習の時間に行われている、キャリア教育（進路指導）に関係する部分に絞って系統表を作成する。
- (2) 小学校と中学校で重複した内容がないか確認する。
- (3) 各学年で、次学年を上回るような内容がないか確認する。
- (4) 各校・各学年でどのような内容が行われているか、教職員が確認できるような資料のまとめ方をする。

5 まとめと考察

(1) まとめ

総合部会の活動は、下記の資料の作成をもってまとめとする。

資料①「総合的な学習の時間」における育てたい力～キャリア教育の4つの観点から～

資料②「総合的な学習の時間」の中で行われているキャリア教育（特に進路指導）に関する内容の系統表とシラバス

資料③総合的な学習の内容9年間の見取り図

- ・作成した資料を各校の総合的な学習の時間の年間計画に挿入する。
- ・各校の総合部のメンバーが全職員へ説明をし、共通理解を図る。
- ・各校の「総合的な学習の時間」の主任に引継をし、次年度からは各校で資料を活用・修正など行う。

(2) 考察

- ①小学校では、家族の仕事を調べるシャドウ学習や、中学に向けての部活動見学などがあげられる。
- ②中学校では、地域の中から職場を探し、「訪問」「体験」と、段階を踏まえて活動を行っている。

③総合的な学習の時間で行われているキャリア教育の内容の系統表（簡易版）

年	主な活動内容
小 6 年	『夢に向かって』『夢・チャレンジ』 ・シャドウ学習（保護者）半日 ・職業人講話（地域人材，保護者） ・お礼文を書こう ・マナー講座
	(小中一貫教育) ・中学校の部活動見学 ・中学校の合唱コンクール見学
中 1 年	『地域の産業や職業を知ろう』 ・職場調べ（地域）1日 ・職場訪問，インタビュー（地域）
中 2 年	『地域社会に学ぼう』 ・職業体験（地域）3日 ・マナー講習会 ・講演会（中3年生）
中 3 年	『地域との関わり方・自分を知ろう』 ・高校調べ ・学校訪問，オープンキャンパス ・入試説明会 ・面接演習

6 成果と今後の取り組み

(1) 成果

- ①中学校への進路指導に向けた系統表を作成し、小・中の学習を見直し、見直しをもって指導ができる体制をつくることのできた。
- ②小・中の総合的な学習の取り扱いの違いを互いに理解することができた。

(2) 今後の取り組み

- ①各校の総合的な学習の時間の年間計画に資料を挿入する。
- ②各校の総合部のメンバーが資料の説明を行う。
- ③年間計画作成時に変更があれば、3校の資料の変更作業を行う。